

## マーケットの動き（2024年2月12日～2月16日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。1月米国CPI（消費者物価指数）の上振れを背景とした米国金利上昇を受け、米ドルは151円付近まで上昇しました。その後、米國小売売上高の下振れなどを受け米国金利が低下すると米ドルも150円を下回る水準まで下落しましたが、週末には金利上昇となり円安・米ドル高基調で週を終えました。

ユーロは前週末比、対円で上昇した一方、対米ドルで下落しました。

## 投資環境見通し（2024年2月）

## 円に対して米ドルは強含み、ユーロは小幅に上昇

**米ドル：**中期的には日米金利差が縮小するとみられることから、円高ドル安方向に向かうとみています。ただし、短期的にはFRB（米国連邦準備制度理事会）による早期の利下げ観測、および日銀による早期の政策修正観測がともに後退する可能性があり、新NISA（少額投資非課税制度）を通じたドル買いもあり、ドルは円に対して強含むとみています。

**ユーロ：**ECB（欧州中央銀行）による早期の利下げ観測が後退するとともに、賃金上昇率の高止まりを背景としたインフレ警戒感も根強いことから、ユーロは円に対して小幅に上昇するとみています。

	2月16日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	150.24	0.91	3.30	4.42	16.03
ユーロ/円	161.83	0.76	2.01	2.79	18.59

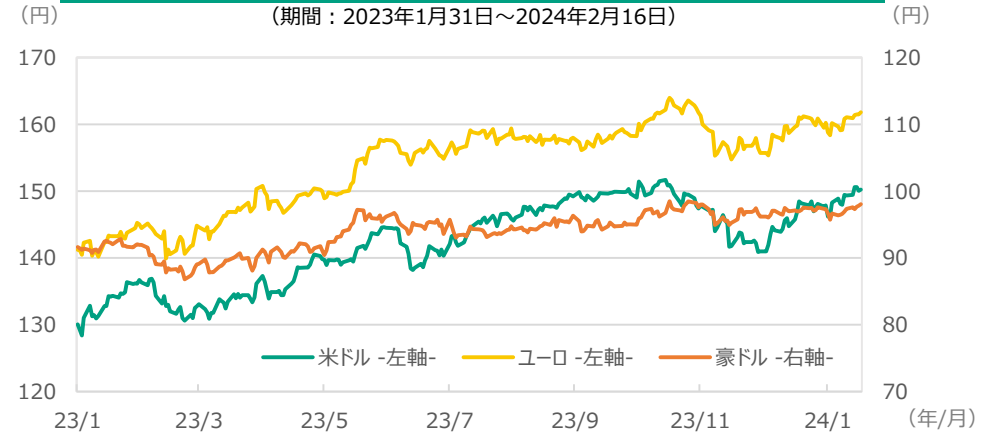
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

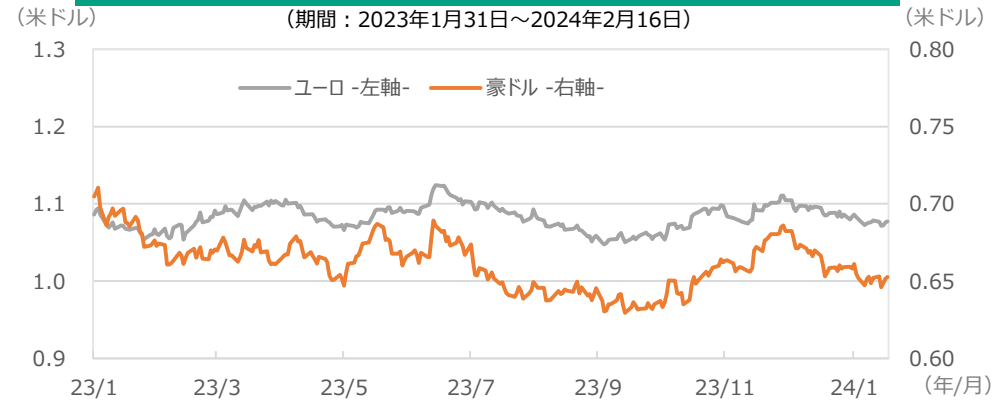
[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202402\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202402_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 為替レートの推移（対日本円）



## 為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成